

## 論文査読セッションへのご案内

### JAROS2018 年研究発表大会

期間：2018 年 12 月 1 日 (土)、2 日 (日)

場所：東京経済大学 (東京都国分寺市南町 1-7-34)

日本リアルオプション学会は、2018 年研究発表大会での論文査読セッションへの論文投稿を、広く、非会員の方からも、募集いたします。この査読セッションに採択された論文は、上記の研究発表大会で、研究報告をしていただいたうえで、本学会の論文誌「リアルオプション研究」または、英文論文誌 International Journal of Real Options and Strategy (2019 年発行) に、掲載されます。これら論文誌は、電子ジャーナルとして国内外に公開されます。

研究の領域としては、各種のリスクの分析、投資案件の価値づけ、ゲームおよび戦略にかかわる論文を歓迎いたします。関連テーマには、知的資産はじめ、各種オプション的な資産の価値づけ、非完備な市場での資産価値、エネルギー・ビジネス、M&A に係わる理論および実証分析、エージェンシー問題、組織や制度のデザインなどが含まれます。

理論研究と応用研究の二つのカテゴリーに分けられます。理論研究は、オリジナリティと学術性を重視します。応用研究は、ケーススタディ、現実問題との関連性や実践的応用性を重視します。

なお JAROS2018 研究発表大会の優秀論文に対しまして、表彰の予定です。

## 論文募集と査読のスケジュール

**査読セッションへのエントリー (申込み) 締切：2018 年 5 月 11 日 (金)**

申込用紙 (当ご案内の 2 枚目) と 2 ページ程度の要旨 (A4 判) を一緒にまとめ、

【論文 投稿フォーム】[https://fs220.xbit.jp/~fs220\\_r766/form3/](https://fs220.xbit.jp/~fs220_r766/form3/)よりご提出ください。

**査読セッションへ論文提出のご案内：2018 年 6 月 8 日 (金)**

執筆要項および論文テンプレートは以下のページよりダウンロードしてください。

[http://realopn.jp/prep\\_page7.htm](http://realopn.jp/prep_page7.htm)

この審査に合格した場合は、論文 (フルペーパー) 提出へご案内いたします。

審査に合格しなかった場合は、一般研究報告セッションで発表していただきます。

**論文提出期限：2018 年 6 月 29 日 (金)**

論文査読料：1 万円 (参加申込時に大会参加費等と、まとめ支払い可)

別途、大会の参加申込も行ってください。

### 論文査読プロセス

査読委員会は、原則 2 名の査読者に査読を依頼します。必要な改訂等については、委員会が著者と連絡をとります。

**査読セッションでの採否のご連絡：2018 年 8 月 31 日 (金)**

査読結果が【採択】【条件つき採択】【要再査読】の論文は、査読セッションで発表していただきます。【不採択】の論文は、一般セッションで発表していただきます。

### 査読セッションでの研究報告

JAROS2018 研究発表大会：2018 年 12 月 1、2 日 (土日開催)

於：東京経済大学 査読論文報告セッション

論文誌「リアルオプション研究」または、英文論文誌 International Journal of Real Options and Strategy への掲載

刊行予定：2019 年

お問合せ先：JAROS 事務局: Email: [info@realopn.jp](mailto:info@realopn.jp)

## JAROS2018 研究発表大会 論文査読セッションへの参加申込書

\* 印の欄は記入しないで下さい。

	受付 月 日	*	論 文 番 号	*	
論文 和文タイトル	(本論文が英文になる場合も、和文タイトルをご記入ください)				
論文 英文タイトル					
(ふりがな) 氏 名 (first author に○印)					
所属(勤務先等)					
本学会員の方は○ をおつけください					
所属学会 (本学会会員でない方)					
著者に対する本会 からの連絡先 (くわしく)	勤務先所在地				
	同上部課名				
	連絡者名				
	電 話		FAX		
	e-mail				

あなたの論文について、下記のいずれかに、を記してください。

- 理論研究 (Theoretical Paper): 主に、オリジナリティと学術性の観点からの査読を望む。
- 応用研究 (Application): 主に、現実問題との関連性や実践的応用性の観点からの査読を望む。
- 研究ノート (Technical Note): 論文にまで至らない段階の調査・研究等の成果ないし経過の発表としての査読を望む。

あなたの論文に関連してのキーワードをお書きください。(5 ~7 個程度)

1. \_\_\_\_\_ 2. \_\_\_\_\_ 3. \_\_\_\_\_ 4. \_\_\_\_\_  
5. \_\_\_\_\_ 6. \_\_\_\_\_ 7. \_\_\_\_\_

エントリー審査結果につきましては、6月8日頃 ご連絡予定です。

### 論文要旨

別紙に、1~2ページの論文要旨をご用意ください。(本論文が英文になる方は、論文要旨も英文です。)